

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより | 2026.1.15 第84号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

身近な問題を捉えながら取組む一年に



（会長 浅沼正昭）

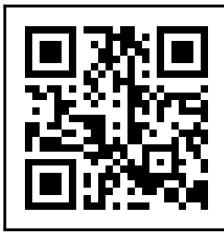
小山田地区の皆様新年おめでとうございます。比較的穏やかな状況の中で新しい年を迎えることができたと思っておりますが、皆様はどのように感じておられるでしょうか。昨年、近隣では大きな災害がなかったわけですが、県内では2月から4月にかけての大船渡山林火災、国内では11月の大分県佐賀関の大規模火災、国外においても香港の高層住宅火災など記憶に新しい災害が発生しています。地震や台風など避けることのできない災害も多いのですが、火災については私たちが十分な注意を払うことで発生を抑えることが可能なものも多いので、お互いに注意することが重要です。災害以外では、米の供給量と価格の問題、諸物価の高騰がもたらす影響、熊の出没増加に係る話題が最も多かったと思っています。このような問題は、今年になっても継続していくと思われます。地域にとって最も重大ととらえている少子高齢化の問題は、残念ながら解決の方策の見えない問題です。本年3月で上瀬保育園の閉園が決まっており、小山田保育園もいつまで存続できるかわからない状況です。このような中で、この地域をどのようにして元気にしていけるか地域の皆さんと知恵を出し合っていかなければなりません。さて、今年は1月下旬の花巻市長選挙を始め、7月に予定される花巻市議会議員選挙等、自分たちの生活に直接かかわる選挙が行われます。世界中で戦争や紛争が絶えず発生・継続し、国内の政治も円安や物価高など多くの問題を抱えているわけですが、まずは身近な問題をとらえながら、取り組みを進めましょう。新しい年が、皆様にとって良い年であることを祈念し、年頭に当たってのあいさつといたします。



地域を紹介する新たな映像を作成しました



令和6年度に小山田地域を紹介する「初夏の景観集」と「秋の景観集」のふたつの映像を作成し、ホームページやYouTube、Facebookで、地元はもとより、地域を越え多くの皆さんに小山田の四季折々の美しい自然の風景を紹介しました。視聴された方も多く、様々な心温まる感想をいただきました。今年度は小山田に住んでいる人々を中心に「わたしの好きな小山田」と題し、「小山田のここが好き」、「わたしの夢」など地域の良さについて紹介している映像を作成しました。ご覧になりたい方は下の各QRコードを読み取ると視聴できます。



ホームページQRコード



YouTubeチャンネルQRコード



FacebookQRコード



「にこにこサロン」今年の締めくくりとして



今年度最後となる生活環境福祉部「にこにこサロン」を11月18日に開催しました。毎年最終回には小山田駐在所のお巡りさんによる、「高齢者のための交通安全教室」や「特殊詐欺被害防止の勉強会」を行っています。今年は山口巡査部長をお招きし、今年特に多く発生している「還付金詐欺」と「ニセ刑事詐欺」についてDVDを見ながらその手口と対策の説明をいただきました。わが身にも起こり得る事なので皆さん真剣に聞いていました。その後、小山田保育園児による「神楽」と「お遊戯」のお披露目いただき、参加者は盛大な拍手を送っていました。引き続き、西宮野目の二本木光史さんによる「脳トレ」と「お笑いマジックショー」で楽しんでいただきました。時折見せるマジックのタネ証しに大笑いでした。また、マジックのすごさに感心し、拍手を忘れた場面では、二本木さんから「ここは拍手をする場面です」と催促される事もあり、笑いと遅ればせながらの拍手を送っていました。さらに、スタッフとの共演もあり、話を良く理解しなかったのか、タイミングが合わなかったり、途中で戻ろうとするしぐさに、二本木さんの笑いを交えた毒舌に大爆笑でした。今年の「にこにこサロン」は終了となりましたが、来年も楽しい企画をしますので、元気な姿を見せてください。お待ちしてま～す。



小山田保育園児による「神楽」と「お遊戯」



二本木光史さん

色紙の押絵で干支の午/うまづくり



今年度2回目となる、教育振興部「ハンドメイド交流事業」を石鳥谷町の晴山淳子さんをお招きし「さくらほりきり・色紙の押絵」講座を開催しました。ちりめん(しわ)加工を施した和紙でそれぞれのパートをくるみ、直接下絵に貼っていき、干支の「午/うま」



の壁飾りを仕上げました。細かい作業もあり、途中、全員が作業に集中しすぎて沈黙の時間がありましたが、皆さん時間内に完成させる事が出来ました。親子で参加してくれた方々は、親の方が真剣な眼差しで作業に取組んでいました。ちなみに、午年は、馬が持つ「跳ねる、駆ける、達成する」といった年なそうで、馬は前向きなエネルギー、成功、繁栄のシンボルとされているそうです。また、午年生まれの人は、ハードルが高いほどやる気が溢れ、自分自身も成長できるタイプだという事ですよ。皆さん、今年一年良い年でありますように。



なお、講師の晴山さんがJA生活活動リーダーという事でJA東和町支店の吉田真澄さんもお手伝いに来てくれました。ありがとうございました。

書道講座「美文字レッスン」開講



書道の基本「永字八法」の説明
講師の中島八重子さん

教育振興部「書道講座」を11月6日から毎週木曜日5回のコースで開催しました。今年度11名の参加申込でしたが、初回は急用などにより参加出来なくなつた方々が多く、少人数での開講となり大変残念でした。1回目は基本となる、筆やペンの握り方、姿勢の取り方の指導を受け、縦の文字、横の文字の書き出しと終わりの間隔、文字間・苗字と名前の間隔の取り方など実用的な講座でした。普段書いている自分の名前でしたが、書き方の基本を学ぶと見違えるほどの文字バランスとなり、参加者は驚いていたようです。また、2回目からは、書道の基本となる素点(始点)や、書道の技法・永字八法についての説明とそれぞれの筆づかい・筆のはこび方の練習をしました。ちなみに、永字八法とは、書道の基本となる8種類の筆使いが「永」の字に集約されていることから、「永」の字を練習することで、点、横画、縦画、はね、右上がりの横画、左払い、短い左払い、右払いの基本技法を習得できるそうです。今年度の最終回となる12月4日はたたみ2畳ほどの紙に参加者全員で2026年干支の「午」にちなんだ熟語で寄書きを行い書き上げました。皆さん、講座が終了し自分が書いた「美文字」に満足の表情でした。



土壌分析でより良い米づくりを



令和7年産米は近年にない高値での取引となりました。石破政権から高市政権に変わってコメ政策も大きく変わり、新たに就任した鈴木農水相は「今すぐに大幅に増産ということに踏み切れば、需給の安定というバランスを崩す」と発言、さらに、「減反政策」を見直し「増産」にかじを切った石破政権に対し、価格の暴落を防ぐため『需要に応じた生産』を掲げ、事実上の方針転換を表明しました。来年産の生産量の見通しも、今年より5%少ない711万トンに設定され、そんな中、農家はどう対応すべきでしょうか？米作りは、日当たりや土壌、水利、天候、病害虫など多様な要素に左右され、特に天候の影響を受けやすい作物です。近年、猛暑による米の不作が起り、供給量が不足する事態も発生しています。また、農家の減少と高齢化は深刻な問題です。この状況が続くと、食料の安定供給が難しくなり、水田が持つ多面的な機能も損なわれる可能性があります。ある農家は、方向性の見えない稻作について、量産出来る米の品種に代えるか、差別化商品のブランド米に取組むか模索中だと報道がありました。どちらかの方法を取るにしても、それにあった土壌づくりが大事となりますよね。私も、毎年土壌分析を行っていますが、その年の作柄(天候)によって稲刈り後の土壌に大きな変化が見られ、残留肥料要素の量も大きく異なります。翌年はそれを基に肥料設計し散布をしていますが、ま～、私がやる農業なので、適当な散布となりますね(^^;) 今年は5名10圃場の土壌分析検査を行いました。是非、皆さんも土壌分析でより良い米づくりを！



【おめでとうございます！】

令和7年11月14日、トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)で開かれた「第78回岩手県社会福祉大会」の場で、中川目の菊池成俊さん(東和町民生委員児童委員協議会副会長)が在任期間通算7年(令和6年11月30日において)に達したことを受け、岩手県民生委員児童委員協議会から「永年勤続民生委員児童委員表彰」を受けました。長年にわたる活動に感謝を申し上げます。

★民生委員児童委員のお仕事って？ 何？

民生児童委員は、厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員（特別職）です。担当の区域でひとり暮らしの高齢者や障がいのある人の安否確認や見守りを行っています。さらに、介護や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配事など、さまざまな相談をお聞きし、情報の提供や、必要に応じて関係機関へのつなぎを行います。地域福祉には欠かすことの出来ないお仕事です。

◆小山田地区民生児童委員（任期：令和7年12月1日から令和10年11月31日）

- 小野寺アサ子（石鳩岡・南川目） ○ 浅沼まゆみ（中川目・秋葉・駒形）
- 千葉良一（古田・留ヶ森） ○ 下坂淳代（前田）
- 宮川美喜子（外谷地・北小山田）



【重要】振興センターの利用予約の仕方が変わります。

令和8年2月から振興センターを含む花巻市公共施設の予約方法が変わります。

- オンライン（パソコンやスマホ）で施設の空き情報の検索や施設予約が可能になります。システムを利用するためには申請（利用者登録）が必要となります。
- 申請後に、施設管理者の「承認」を得て、IDとパスワードが発行されますので、利用申請の際は発行されたIDとパスワード並びに必要事項をシステムに入力し申請となります。施設管理者から「利用許可書」が発行され施設利用が可能となります。
- 使用料金の支払は、クレジットカード、コンビニ払い、Pay Pay、でも可能となります。
*一部の施設で先行導入予定しております。将来的には全ての施設での導入を目指します。
- なお、従来の電話や窓口での使用予約申請、料金支払いなど、これまで通り併せて行います。

令和7年12月末現在

() : 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	53 (0)	76 (0)	62 (0)	138 (0)
第2行政区	146 (-1)	178 (0)	179 (1)	357 (1)
第3行政区	154 (0)	179 (0)	208 (1)	387 (1)
第4行政区	113 (-1)	156 (-1)	158 (0)	314 (-1)
計	466 (-2)	589 (-1)	607 (2)	1,196 (1)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



大晦日の打上げ花火
中川目 / 07.12.31撮影

～私のひとり言～ 先日、とある報道で令和5年度の都道府県別国民年金と厚生年金の支給額の公表がありました。国民年金の全国平均は57,700円で岩手県は18位の58,866円と全国平均を上回っていました。1位は61,220円の富山県、47位は52,837円の沖縄県だという事です。また、厚生年金については、全国平均は147,360円で岩手県は40位の129,036円と全国平均を大きく下回っています。1位は166,578円の神奈川県、47位は124,383円の青森県だという事です。厚生年金は給与所得によって左右されるため大きな格差が生じています。今年8月4日に最低賃金の改正が示され過去最大の63円の引上げとなり、10月1日から随時都道府県別に金額を示し始めました。岩手県は12月1日から1,031円となりました。ちなみに厚生年金額1位の神奈川県は1,225円と上げ率は5.4%と低いものの東京都の次に高い賃金となりました。岩手に住んでいる私たちにとっては夢のような額ですね(T_T) (菊池)

発行：明日の小山田を考える会・電話：0198-42-2941
ホームページ：<http://www.asuno-oyamada.jp>
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

